

# 第1号議案 平成23年度事業報告並びに収支決算報告、監査報告に関する件（案）

## 平成23年度事業実施報告書

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

### I 事業の概要

#### 1 教育に関する機関誌等の発行

（執筆者等 敬称略）

##### (1) 「茨城教育」の発行

###### ・ 編集の基本方針

公平・公正さを堅持しつつ、広く県民の教育世論を掲載し、現下の教育の改善充実に資する。

###### ・ 編集委員会

執筆者の推薦、編集内容についての審議

###### ・ 発行回数 年度内3回

###### ・ 購読者を対象としたアンケート調査を実施し、一層の誌面の改善に資する。

##### ① 第836号（6月20日発行、6600部）

###### ◎ 特集主題 『『学校力』を高める試みとその支援のあり方』

—— 家庭・地域と課題を共有し、

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり ——

###### ・ 私の好きなことば

「学校は人に物を教ふる所にあらず、唯其天資の発達を妨げずして能くこれを発育する為の具なり」 常磐大学・常磐短期大学長 森 征一

###### ・ 巻頭言

「震災に想う——家庭・地域社会と課題を共有した学校づくり」

（社）茨城県教育会会長 小貫 紀久

###### ・ 論 説

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり

茨城大学教授 根本 博

「人」を育てる～教師の使命、学校の使命～

###### ・ 研究実践レポート

「小中連携による学力向上に向けた取り組み」

—— 市校長会・市教委・市教育研究会の連携を基にした授業参観及び協議会 ——

日立市立宮田小学校教諭 富山 秀男

「今日が楽しく、明日が待たれる学校づくり」

—— 確かな学力を身につける学習指導を通して ——

土浦市立土浦第二小学校校長 齋藤 優子

「思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業のあり方」

—— 各教科における言語活動の充実を通して ——

筑西市立下館南中学校教諭 柴山 史子

###### ・ 教育相談室から『子どもの声』

「未来の笑顔のために——見届けること 伝え続けること」

中学校教諭

「ぼく、漢字が覚えられないんだ——知能検査結果を指導に生かす」

小学校教諭

- 「子どもの泣き声」 スクールカウンセラー
- ・ ひろば
    - 「遊びを幼児生活の中心に！」 茨城キリスト教大学教授 大畠 孝子
    - 「空気の支配と法教育」 みとみらい法律事務所弁護士 後藤 直樹
    - 「フジバカマの保全活動を通して得たもの」 下妻市立高道祖小学校教諭 稲葉 洋明
  - ・ 随 想
    - 「大震災に思うこと——先人の残した教えは——」
      - 学校法人栄光幼稚園園長 橋本 幸雄
      - 「支えるもの」 太子町立黒沢中学校校長 鈴木 暢彦
      - 「子どもたちから学んだこと」 日立市立坂本小学校校長 坂本 要
      - 「出会いに感謝 三度目の勤務校」 神栖市立息栖小学校校長 木滝 道章
      - 「恩師から受け継ぐ精神」 石岡市立府中小学校栄養教諭 塩畑小百合
      - 「助け合う心のスイッチ」 古河市立上辺見小学校教諭 秋山 正美
      - 「コンピュータと私」 茨城県立下妻第一高等学校長 横倉 和夫
  - ・ フレッシュ先生 夢を語る
    - 「はじめの一步」 茨城町立長岡小学校教諭 清水 裕子
    - 「新たなスタート」 日立市立成沢小学校教諭 松浦 美幸
    - 「夢」 阿見町立竹来中学校教諭 廣澤 雄一
    - 「新採一年目を振り返って」 桜川市立岩瀬西中学校教諭 赤塚 昌之
  - ・ 後輩に託す応援歌
    - 「東日本大震災を教訓に」 ひたちなか市・賛助会員 小田島俊夫
    - 「相談活動に携わって」 日立市・賛助会員 高倉 克実
    - 「強い学校力を」 行方市・賛助会員 根本 健助
    - 「教育実践者として」 下妻市・賛助会員 中島 成行
    - 「求められる大きな度量」 ひたちなか市・賛助会員 矢須 恵由
  - ・ わがP T A活動紹介
    - 「特別委員会『おやじの会』の活動について」 日立市立成沢小学校P T A
    - 「『いなほ』百号を祝して」 取手市立吉田小学校P T A
  - ・ サークル紹介
    - 「坂東市理科サークル」 平成22年度会長 森 甚二
  - ・ 文化施設めぐり
    - 「鹿島宇宙技術センター」 鹿島市平井893-1 電話0299-82-1211 (代表)
  - ・ 俗談平語 「空前の惨禍から」 特別編集委員・茨城県教育会顧問 清水 千壽
  - ・ 茨城県教育会だより
    - 「平成23年度の主事業及び開催予定」「教育功績者表彰」等関係記事

② 第837号 (11月20日発行、6500部)

◎ 特集主題 「『学校力』を高める試みとその支援のあり方」

—— 家庭・地域と課題を共有し、

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり——

- ・ 私の好きなことば

- 「細心にして大胆」 茨城県教育委員会教育長 小野寺 俊
- ・ 巻頭言
    - 「学習指導要領全面実施を学校の教員集団で取り組む」 本会副会長 大嶺 和彦
  - ・ 提言
    - 「今だからこそやらなければならない教育」 本会理事 横瀬 晴夫
    - 「子ども・保護者・社会が共に育つPTA」 本会理事 小坪 真司
  - ・ 研究実践レポート
    - 「一人ひとりがキラリ輝く活力ある学校づくり」
      - 発見・謎解き・物づくりを楽しむ児童の育成 ——
      - 東海村立白方小学校教諭 黒澤 千江
    - 「自ら学び、主体的に取り組む学習指導の在り方」
      - 総合的な学習の時間における地域と学校の連携から ——
      - 銚田市立銚田南中学校教諭 額賀 博
    - 「新聞のコラムを読んで自分の意見・感想を書くことを目指す国語科学習指導」
      - 「天声人語」を使った継続的なドリル学習を通して ——
      - 茨城県立岩瀬高等学校教諭 小倉 敏道
  - ・ 教育談話室から〈子どもの声〉
    - 「R児とのかかわりを通して」 幼稚園教諭
    - 「日々ていねいな実践を——今できることを今する」 小学校教諭
    - 「校内支援体制の活用——A男との関わりを通して」 中学校養護教諭
  - ・ ひろば
    - 「家庭・地域との信頼関係を高めるための積極的な情報発信」
      - 龍ヶ崎市立八原小学校校長 久保田 憲
    - 「三十年の経営人生を振り返って」 萩原石材株式会社代表取締役 萩原 方
    - 「実学再考」 茨城県立水戸商業高等学校校長 大内 一幸
  - ・ 随想
    - 「自然に親しむ機会を」 常陸太田市立のぞみ幼稚園園長 日座 正人
    - 「今時の若者に期待を寄せて」 那珂市立第一中学校校長 西野 則史
    - 「偶然のできごと」 常陸太田市立金砂郷小学校校長 井上悠紀子
    - 「企業等長期研修を通して」 鹿嶋市立大野中学校教諭 鹿間恭一郎
    - 「生かされていることに感謝」 取手市立取手小学校校長 矢作 進
    - 「小さな行動に込められたもの」
      - オランダロッテルダム日本人学校教諭 三國 智子
    - 「博物館・遺跡見学の旅」 茨城県立取手松陽高等学校校長 中島 博司
  - ・ フレッシュ先生 —— 夢を語る ——
    - 「ピンチはチャンス」 水戸市立石川幼稚園教諭 白土絵梨佳
    - 「笑顔を忘れずに」 神栖市立神栖第一中学校教諭 大場ひと美
    - 「笑顔とともに」 かすみがうら市立牛渡小学校教諭 石川奈津美
    - 「学ぶ楽しさを伝えられる教師に」 常総市立水海道小学校教諭 中島 周幾
  - ・ 後輩に託す応援歌
    - 「退職六年目に」 小美玉市・賛助会員 笹目 妙子
    - 「難しくしないこと」 常陸太田市・賛助会員 吉村 伸一
    - 「おはようの一声に教師の素養を見る」 銚田市・賛助会員 飯島 郁郎

- 「私学教育を通して」 稲敷市・賛助会員 矢崎 克実  
「理科教育への思い」 常総市・賛助会員 秋田 和子  
「元気に前向きに夢を語って」 龍ヶ崎市・賛助会員 染谷 信洋
- ・ わがP T A活動紹介  
「P T Aだから実践できる環境保護（エコ）かつどうについて」  
銚田市立野友小学校P T A
  - 「みんなで楽しく創る大形小P T A  
～われらわ大形キッズの応援団～あさがお運動展開中」  
下妻市立大形小学校P T A
  - ・ サークル紹介  
「日本語補習二十六年『風の会』」 代表 吉田 麻子  
連絡先：電話 029-851-3552

○【特集】第63回日本連合教育会研究大会 茨城大会

- ・ テーマ「国際社会に生きる心豊かで創造的な日本人の育成」  
学ぶ意欲に富み、思考力・判断力・表現力を備えた子どもの育成
- ・ 記念講演 演題「日本の宇宙開発」  
講師 J A X A つくば宇宙センター所長 川田 恭裕 氏
- ・ 本県提案 第1分科会「創意を生かした特色ある教育課程の編成」  
地域のリソースを生かし、夢の実現に向かって努力する生徒の育成を目指して  
古河市立古河第二中学校教諭 瀬戸井 充
- 第2分科会「児童が主体的に学び対話する力が育つ学習指導の在り方」  
——第1学年国語科「話すこと・聞くこと」の指導を通して——  
つくば市立吾妻小学校教諭 小島恵美子
- 第3分科会「命を大切にすることを育む道徳教育の実践」  
——道徳学習プログラムの作成と実践を通して——  
日立市立諏訪小学校 教諭 川野邊 和
- 第4分科会「積極的な生徒指導の在り方」  
——日々の実践を通して——  
高萩市立高萩中学校教諭 岩間 英人
- 第5分科会「人とのかかわりが子どもの夢や希望、目標をはぐくむ」  
——小学校における系統的な2年間のキャリア教育の実践——  
銚田市立舟木小学校 教諭 関根 康裕  
「地域の一員としての自覚を持ち、問題を解決し、  
自分で道を開いていく生徒の育成」  
——「校訓」を生かした体験活動の工夫と  
キャリア・カウンセリングの視点と配慮を生かした  
教科指導の工夫・改善を通して——  
土浦市立新治中学校教諭 川中 俊治
- 第6分科会「身近な環境に目を向け、環境保全の大切さに気づき、  
自ら実践・行動する児童の育成」  
——霞ヶ浦の水環境についての学習を中心とした

環境教育を通して——  
行方市立麻生小学校 教諭 石川 英樹  
第7分科会「自他のよさに気づき、互いを高め合いながら

自己実現をめざす人づくり」  
水戸市立内原中学校教諭 小室 基行  
第8分科会「小学校教育への円滑な移行を配慮した保育の在り方」  
——併設園における幼保小連携を通して——

水戸市立稲荷第一幼稚園教頭 莊司 光枝  
第9分科会「個別支援を要する児童の自立・集団参加を目指した  
支援体制のあり方」  
——アセスメント、支援策の策定から

異業種連携の手続きについて——  
つくば市立沼崎小学校教諭 金子 知之  
第10分科会 [パネルディスカッション]

「『生きる力』を育成する学校・家庭・地域社会の協働の在り方」  
コーディネーター 大木 勝司 元水戸市立浜田小学校長  
パネラー 糸川 義明 鹿嶋市立鉢形小学校教諭  
パネラー 矢口みどり 茨城県PTA連絡協議会副会長  
パネラー 鷲田 美加 NPOままとーん代表

- ・ 青年教師の会 研究協議題 「好ましい人間関係づくりを求めて」
- ・ 県外参加 385名 本県参加 849名 全体参加数 1,234名
- ・ 文化施設めぐり  
「常陸太田市郷土資料館『梅津会館』」  
連絡先：常陸太田市西二町2186 電話 0294-72-3201
- ・ 俗談平語  
「柿の木もよう 柿もよう」 特別編集委員・茨城県教育会顧問 清水 千壽
- ・ 茨城県教育会だより

③ 第838号（2月20日発行、6500部）

◎ 特集主題「『学校力』を高める試みとその支援のあり方」

—— 家庭・地域と課題を共有し、  
新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり ——

- ・ 好きな言葉  
「努力は天才に勝る」 前常総学院高等学校野球部総監督 木内 幸男
- ・ 巻頭言  
「国の隆盛は教育から」 茨城県教育会理事 和田 幸  
—— 学習指導要領の変遷と課題 ——
- ・ 提言  
「子どもと向き合う時間の確保を」 茨城県教育会理事 綿引 和義
- ・ 教育座談会 【県西地区】  
○ テーマ 「『学校力』を高める試みとその支援のあり方」  
—— 家庭・地域と課題を共有し、

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり ——

○ 期 日 平成23年11月11日(金) 午前10時から12時まで

○ 会 場 茨城県県西生涯学習センター

○ 出席者 幼稚園・小学校・中学校教職員及びPTA関係者・地域教育活動家  
7名

・ 研究実践レポート

「いろいろな人とかかわりながら、心身ともに豊かに成長するための援助の在り方」

—— 楽しんでかかわったり、じっくりと遊びに取り組んだりしながら ——

水戸市立笠原幼稚園園長 大山美代子

「地域の中でともに生きる感性豊かな萩っ子の育成」

—— 幼・保・小・中学校の連携を通して ——

高萩市立秋山中学校教頭 関根 静秀

「考える力を育てる算数科学習指導の工夫」

—— 算数的活動の充実を重視した授業づくりを通して ——

石岡市立小桜小学校教諭 遠藤 勝彦

・ 教育談話室から 【子どもの声】

『『死にたい気持ち』からのメッセージ』

スクールカウンセラー

「自己肯定感を高める支援——A男とのかかわりを通して」

小学校教諭

「M子との関わりを通して——M子と保護者との二年間」

中学校教諭

・ ひろば

「縄文時代、千波湖は海だったのか」 小美玉市立下吉影小学校校長

海老澤 稔

「探鳥会を通して」

高萩市立君田中学校G T

鈴木 積穂

「主体性を育む生徒会活動」

神栖市立波崎第二中学校教諭

田山 宣慶

・ 随 想

「地域の方とともに」

水戸市立酒門幼稚園園長

高津戸敏子

「成人式に参加して思うこと」

大洗町立南中学校校長

磯田 洋

「子ども心の計算」

高萩市立秋山小学校教頭

小池 洋一

「歌との出会い」

鉾田市立上島西小学校校長

川又 義幸

「思い出をいただきます」

つくばみらい市立谷井田小学校校長

広瀬 一峰

「出会いは伏流水のように」

坂東市立弓馬田小学校校長

倉持美由紀

「校長室から最近思うこと」

県立土浦第一高等学校校長

武井 秀一

・ フレッシュ先生 —— 夢を語る ——

「周りに支えられて」

水戸市立五軒小学校教諭

関谷 佳苗

「栄養教諭1年目を振り返って」

高萩市立高萩中学校栄養教諭

中野 美香

「一期一会」

鹿嶋市立鉢形小学校教諭

太田 樹人

『『夢』を形に』

茨城県立明野高等学校教諭

松山奈緒美

・ 後輩に託す応援歌

「趣味に生きる」

小美玉市・賛助会員

中山 義照

「子どもたちの笑顔のために」

日立市・賛助会員

山田 禮子

「組織を生かす」

潮来市・賛助会員

飯島 耕作

「起承転結に一年」

つくば市・賛助会員

中島 修

「東日本大震災から」

笠間市・賛助会員

松本 哲

「ふるさとに誇り」

那珂市(高校)・賛助会員

仲田 昭一

- ・ わがP T A活動紹介  
「科学の楽しさを子どもたちに」 ひたちなか市立高野小学校P T A  
「子どもたちの成長を願ったP T A活動」 鹿嶋市立三笠小学校P T A
- ・ サークル紹介  
「古内大杉囃子保存会」  
〒311-4315 東茨城郡城里町上古内413-2 会長 鯉淵 英昭
- ・ 文化施設めぐり  
「筑西市立明野図書館」  
〒300-4517 筑西市海老ヶ島2120-7 館長 飯野 隆
- ・ 声の欄 茨城教育を読んで  
「フレッシュ先生、今・昔」 銚田市立大洋中学校校長 高橋 淳  
「キラキラ輝く子どもたちを目指して」 土浦市立乙戸小学校校長 岩田 幸夫  
「今だからこそ『生きる力』を」 下妻市立下妻小学校教頭 黒田 光浩  
「『細心にして大胆』に思う」 那珂市・賛助会員 小堀 優
- ・ 俗談平語  
「作稀勢」 特別編集委員・茨城県教育会顧問 清水 千壽
- ・ 教育会だより「郡市地区教育会代表者研究協議会 他」 茨城県教育会事務局

## 2 教育の振興並びに郷土文化の継承・発展に資するための各種研究調査

- (1) 教育に関する資料の収集・保管
  - ① 市町村教育委員会作成の指導資料等の収集・整理
  - ② 郡市教育会等による「教育史等」の収集
- (2) みんなで教育を考える「いばらき教育の日」推進協議会事業への積極的な参画
  - 発起人団体として、推進協議会主催 「みんなで教育を考える『いばらき教育の日』推進大会」の企画・運営にあたり、下記により開催された。

### 【第12回 みんなで教育を考える いばらき教育の日推進大会】

- ・ 期 日 平成23年11月1日(火) 10:00~12:50
- ・ 会 場 茨城県 県民文化センター 小ホール
- ・ 主 催 みんなで教育を考える「いばらき教育の日」推進協議会

#### 【推進協議会構成38団体】

大好きいばらき県民会議 茨城県P T A連絡協議会 茨城県退職校長会  
 (社)茨城県教育会 (社)青少年育成茨城県民会議 日本ボーイスカウト茨城県  
 連盟 茨城県退職高等学校長会 (社)茨城県経営者協会 茨城県高等学校  
 P T A連合会 茨城県学校長会・茨城県教育研究会 茨城県子ども会育  
 成連合会 茨城県私学協会 茨城県国公立幼稚園P T A連絡協議会 茨城  
 県交通安全母の会連合会 茨城県商工会連合会 茨城県地域女性団体連  
 絡会 (財)茨城県青少年協会 (社)ガールスカウト日本連盟茨城県支部 茨  
 城県青少年赤十字指導者協議会 茨城県幼稚園連合会 (財)げんでんふれ  
 あい茨城財団 (財)茨城県交通安全協会 茨城県高等学校文化連盟 茨城  
 県高等学校教育研究会 茨城県吹奏楽連盟 茨城県高等学校体育連盟  
 茨城県高等学校野球連盟 茨城県中学校体育連盟 茨城県女  
 性リーダー研修生連絡会(緑会) 茨城県教育友の会 (社)茨城県私立幼

稚園連合会・同PTA連合会 茨城県退職公務員連盟 茨城県モラロジー協議会 (社)茨城県専修学校各種学校連絡会 NPO法人 ひと・まちなっとわーく NPO法人インパクト NPO法人 日本スポーツ振興会 茨城キャリア教育協会

- ・ 後 援 茨城県 茨城県議会 茨城県教育委員会 茨城県警察本部 茨城県市長会 茨城県町村会 茨城県市町村教育長協議会 (株)茨城放送 NHK水戸放送局 朝日新聞水戸総局 読売新聞水戸支局 毎日新聞水戸支局 (株)茨城新聞社 (株)常陽新聞新社
- ・ 参加者 38団体及び協賛団体並びに県・県教委・市町村教委及び一般 約450名余 ※茨城県教育会より、正会員・賛助会員・事務局等15名が参加
- ・ 内 容
  - 開会行事
  - 表 彰 善行表彰、優秀標語の表彰、あいさつ・声かけ運動標語の表彰、優秀教員表彰
  - 大会宣言採択
  - パネルディスカッション  
 テーマ「社会全体での教育力の向上を目指して」  
 一人一人が輝く茨城の教育を考える
    - ・ コーディネーター 砂川 洋一 (水戸市立五軒小学校長)
    - ・ パネリスト 川上美智子 (茨城キリスト教大学教授)
    - ・ 同 田賀 直樹 (茨城キャリア教育協会理事)
    - ・ 同 中川 輝夫 (茨城県子ども会育成連合会会長)
    - ・ アシスタント 山田 隆士 (茨城県女性プラザ館長・本会常任理事)
  - 閉会行事

### 3 講演会・研究協議会・研修会・懇談会の開催、各種事業への助成

#### (1) 教育座談会の開催【県西地区】

- 開催期日 平成23年11月11日(金) 茨城県県西生涯学習センター
- テーマ 「『学校力』を高める試みとその支援のあり方」  
 —— 家庭・地域と課題を共有し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり ——

○ 出席者  
(敬称略)

No.	所属等	氏 名	職 名	所 属	備 考
1	幼稚園	荒井 君子	園 長	坂東市立猿島幼稚園	坂東市
2	同	杉山 弘美	PTA副会長	筑西市立明野幼稚園	筑西市
3	小学校	近納 代幸	校 長	境町立静小学校	猿島郡
4	同	羽鳥 浩明	教 諭	八千代町立下結城小学校	結城郡
5	中学校	岡野 陽子	校 長	古河市立三和東中学校	古河市
6	同	菊池 光彦	教 諭	筑西市立明野中学校	筑西市
7	同	保戸山正浩	PTA会長	結城市立東中学校	結城市
8	地域教育	寺田由紀子	学校評議員	常総市立石下小学校	常総市
9	実践活動家	大塚 聡	部活外部指導者	坂東市立岩井中学校	坂東市

【オブザーバー出席】 県西地区学校長会副会長 野村和雄 (桜川市立岩瀬東中学校) 事務局 会長 小貫紀久、事務局長 春田義邦、担当 米山 一・辻本 賢



○ 事後措置 機関誌「茨城教育」第838号(平成24年2月20日発行)に座談会の概要を掲載

(2) 第63回日本連合教育会研究大会茨城大会の開催について

① 開催までの経年経過

○平成20年度 茨城大会準備委員会設置

- ・ 委員会構成 7名(本会顧問・理事・参与・賛助会員・茨城県教育会長)
- ・ 委員会開催 年間3回
- ・ 検討の内容
  - ◎開催期日及び会場の選定について
  - ◎大会主題及び主題設定の理由について
  - ◎分科会及びシンポジウム等の設定について
  - ◎記念講演の講師選定について
  - ◎その他

○平成21年度 茨城大会企画委員会設置

- ・ 委員会構成 24名(茨城大会準備委員会委員・加盟団体及び郡市地区教育会代表茨城県教育会長)
- ・ 委員会開催 年間5回
- ・ 検討の内容
  - ◎開催日程及び各種会場の選定について
  - ◎大会主題及び主題設定の理由並びに大会宣言案の起草について
  - ◎全体会・設置分科会及びパネルディスカッション等の設定について
  - ◎記念講演の講師選定及び連絡について
  - ◎その他

○平成22年度 茨城大会実行委員会設置

・ 委員会の構成

	氏名	所属教育会等		氏名	所属教育会等
1	清水 千壽	準備委員会	20	井川巳智男	鉾田市
2	中井川正次	同	21	滝 恵美子	飯島 英一 行方市
3	佐藤 和夫	同	22	籙 幸子	生天目公司 土浦市
4	都筑 積	同	23	櫻井 二郎	石岡市
5	本田 和夫	同	24	大藤 克義	取手市
6	鯉渕 茂	企画委員	25	根本 光子	飯島 賢一 つくば市
7	長澤 勤	同	26	江田 昭彦	坂本 勝巳 稲敷市
8	砂川 洋一	県学校長会	27	館野 仁一	古河市
9	大嶺 和彦	教育会	28	小倉 秀俊	佐野 功一 下妻市
10	高岡 秀夫	国公立幼稚園長会	29	中島 正	秋葉 道夫 常総市
11	根本 福雄	水戸市	30	渡邊 浩	筑西市
12	秋山 清秀	小沼 英博	31	飯村久美子	茨城大学教育学部附属学校
13	生天目 茂	常陸大宮市	32	寺門 南	全国幼稚教育研究会
14	阿久津敏樹	西野 則史	33	今泉 寛	指導主事会
15	寺門 秀雄	岩間 幸一	34	和田 幸	茨城県教育会賛助会
16	後藤 辰夫	細谷 茂	35	額賀 元康	同
17	古平 均	日立市	36	八木原茂雄	同
18	岡野美智子	常陸太田市	37	小網 昇	同
19	本田 敏尋	黒須 満			鹿嶋市

教育会事務局 春田義邦、勝村操、高堀正伸、米山一、辻本賢、茅根満智子

・委員会の開催

- ・平成22年6月11日（金）午後2時～4時
- ・平成22年7月6日（火）午後2時～4時
- ・平成22年8月4日（水）午後2時～4時
- ・平成22年10月28日（木）午後1時～3時
- ・平成22年11月25日（木）午後1時30分～3時
- ・平成22年12月16日（木）午後1時30分～3時
- ・平成23年1月18日（火）午後1時30分～3時
- ・平成23年2月9日（水）午前10時～12時

※上記8回を原則とするが、実行委員会4部会（総務・全体会運営・研究推進・編集）の進捗状況により開催は柔軟に対応する。

・委員会検討事項

- ◎大会主題及び主題設定の理由並びに大会宣言（案）の決定について
- ◎大会日程の細目の決定と運営について
- ◎大会運営係員（総務部・全体会部・研究推進部・編集部）委嘱について
- ◎文部科学大臣及びJAXA筑波宇宙センター所長との連絡について
- ◎来賓の選定と臨席及びあいさつの依頼について
- ◎その他

○平成23年度 茨城大会実行委員会（2年次）

- ・委員会構成 22年度委員の一部補充
- ・委員会開催

- ・平成23年5月10日（火）午後1時30分～
- ・平成23年6月1日（水）午後1時30分～
- ・平成23年7月6日（水）午後1時30分～
- ・平成23年8月5日（金）午前10時～
- ・平成23年9月29日（木）午後1時30分～

※上記5回を原則とし、その間に各分科会係担当者打合会と係長・副係長会を開催。

・検討内容

- ◎大会会場の変更に関する件の承認について  
3月11日発生の東日本大震災の被災により予定の施設が使用不可能になり、急遽、下記の変更が生じた。

（変更前）  
茨城県立県民文化センター  
同 近代美術館  
水戸市民センター  
ホテルレイクビュー水戸

（変更後）  
つくば国際会議場  
(エポカルつくば)

- ◎大会運営係員の一部委嘱替えについて

- ◎大会の具体的な運営全般について
- ◎実行委員の現地視察・調査について
- ◎その他

### 【第63回日本連合教育会研究大会茨城大会】概要

- 大会主題 **国際社会に生きる心豊かで創造的な日本人の育成**  
— 学ぶ意欲に富み、思考力・判断力・表現力を備えた子どもの育成 —
- 主催 日本連合教育会・社団法人茨城県教育会
- 後援 文部科学省・茨城県・茨城県教育委員会・水戸市・つくば市・水戸市教育委員会・つくば市教育委員会・茨城県市町村教育委員会連合会・茨城県市町村教育長協議会・茨城県教育研究連盟・茨城県学校長会・茨城県高等学校長協会・茨城県教育研究会・茨城県高等学校教育研究会・茨城県国公立幼稚園長会・茨城県国公立幼稚園研究会・茨城県幼稚園連合会・社団法人全国幼児教育研究会茨城支部・茨城県PTA連絡協議会・茨城県高等学校PTA連合会・茨城県公立幼稚園PTA連絡協議会・茨城県退職校長会・茨城県退職高等学校長会・みんなで教育を考える「いばらき教育の日」推進協議会・水戸コンベンションビューロー・社団法人つくば観光コンベンションビューロー
- 期 日 平成23年8月18日(木) 理事会・青年教師の集い・レセプション等  
8月19日(金) 全体会・記念講演・分科会 等
- 会 場 ・つくば国際会議場 (エポカルつくば)  
第1日 理事会・レセプション・青年教師の会  
第2日 開会行事・記念講演・10分科会
- 大会内容 ・開会行事 あいさつ 茨城大会運営委員長 小貫 紀久  
日本連合教育会長 亀井 浩明  
来賓祝辞 文部科学大臣 三好 仁司(代理)  
茨城県知事 橋本 昌  
茨城県議会副議長 飯塚 秋男  
つくば市長 市原 健一  
・全体会 日本連合教育会会務報告 大淵 嘉彦  
主題設定の理由 清水 千壽  
大会宣言採択 中井川正次  
・記念講演 演 題 「日本の宇宙開発」  
講 師 JAXA 筑波宇宙センター所長 川田 恭裕氏  
・設定分科会

分科会名	本県提案者	助言者	運営責任者
① 教育課程	瀬戸井 充 古河市立古河第二中学校教諭	田邊 一男 義務教育課指導担当課長補佐	永盛 清二 古河市立上辺見小学校校長
② 学習指導	小島恵美子 つくば市立吾妻小学校教諭	藤井 千春 早稲田大学教育学部教授	飯島 賢一 つくば市立島名小学校校長
③ 道徳教育	川野邊 和 日立市立諏訪小学校教諭	石川 潤 茨城キリスト教大学准教授	後藤 辰夫 日立市立大みか小学校校長
④ 生徒指導	岩間 英人 高萩市立高萩中学校教諭	住谷 正己 水戸市立飯富小学校校長	岡野美智子 北茨城市立大津小学校校長

分科会名	本県提案者	助言者	運営責任者
⑤ キャリア教育	関根 康裕 銚田市立舟木小学校教頭  川中 俊治 土浦市立新治中学校教諭	園山 和彦 県教育研修センター指導主事	岩田 幸夫 土浦市立乙戸小学校校長
⑥ 環境教育	石川 英樹 行方市立麻生小学校教諭	毛利 靖 つくば市教育委員会指導主事	滝 恵美子 行方市立大和第一小学校校長
⑦ 人権教育	小室 基行 水戸市立内原中学校教諭	生越 達 茨城大学教育学部教授	高丸 知道 水戸市立千波中学校校長
⑧ 幼児教育	荘司 光枝 水戸市立稲荷第一幼稚園教頭	山路 純子 前常磐短期大学幼児教育保育学科	寺門 南 茨城大学教育学部附属幼稚園副園長
⑨ 特別支援教育	金子 知之 古河市立諸川小学校教諭	新井 英靖 茨城大学教育学部准教授	佐野 功一 下妻市立大宝小学校校長
⑩ 家庭・地域・学校の連携 (パネルディスカッション)	糸川 義明 鹿嶋市立鉢形小学校教諭  矢口みどり 茨城県PTA連絡協議会副会長  鷲田 美加 NPO活動法人ままとん代表	大木 勝司 前水戸市立浜田小学校校長	糟谷 正也 鹿嶋市立中野東小学校校長

・参加者 県外 385名 県内849名 合計1,234名

### (3) 郡市地区教育会代表者研究協議会の開催

#### ①地区別協議会

平成23年度は鹿行地区において開催予定であったが、茨城大会開催のため次年度に延期した。

#### ② 全体協議会

- ・期 日 平成23年11月29日（火） 午後10時～12時
- ・会 場 水戸生涯学習センター分館 大会議室
- ・協議内容 平成23年度(社)茨城県教育会実施事業の進捗状況報告  
※ 第3次地域教育振興集会支援事業  
「『学校力』向上プロジェクト支援事業」について  
※ 第63回日本連合教育会研究大会茨城大会の開催について  
(社)茨城県教育会の事業並びに運営についての意見・要望・提言  
(社)茨城県教育会の組織の現況と今後の課題
- ・講 話 講師 茨城県教育庁義務教育課 副参事 小林 仁 先生  
演題 「本県教育の現状と課題」

### (4) 第3次地域教育振興集会支援事業の推進

第2次地域教育振興集会支援事業は、平成16年度から20年度の5年を期限とし、日立市・水戸市・常陸大宮市・稲敷市・鹿島地区・筑西市・古河市・常陸太田市・行方地区・ひたちなか市の10市地区教育会と共催による教育講演会等を実施

し所期の成果を上げることができた。平成21年度から後継事業として下記の事業をスタートさせ、23年度はその第3年次である。

○『『学校力』向上プロジェクト支援事業』（第3年次）

○事業の趣旨

本事業は、各園・学校・PTA・NPO・ボランティア団体等が、学校支援に係る当面する課題の解決に資する研修等を企画する際に、講師招聘費等その経費の一部を補助し、研修活動の活性化に寄与することを目的とする。

○事業の概要

- ・事業予算 総事業費を5年間で3,000,000円とし、単年度600,000円とする。
- ・事業対象 国公立幼稚園・小学校・中学校・高等学校、同PTA、園・学校の教育活動を支援する教育関係機関・団体（ボランティア・NPOなど）等が主催する研修事業とし、単年度120件を対象とする。但し、1団体・年間1回を補助対象とする。
- ・事業内容 主として研修会に招聘する講師謝金として、1団体5,000円を上限として補助する。
- ・その他 依頼する研修講師については、被補助金交付機関・団体等が依頼することとし、その場合には、次の2つのケースになる。
  - ※1 補助金交付を希望する機関・団体が、当該課題の解決に適合する講師を依頼する。
  - ※2 茨城県教育会「賛助会員人材バンク」に登録されている先輩を依頼する。

○平成23年度事業実績（平成23年12月31日現在）

- ・補助金交付総数 120（機関・団体）
- ・補助金交付内訳 (%)

交付先	幼稚園	小学校	中学校	小中合同	その他
件数	1	90	26	3	0

・補助金交付申請研修内容内訳

授業研究	教師資質向上	伝統芸能・音楽	体育・保健・安全	家庭教育	道徳教育
20	18	12	9	9	7

授業の充実	体験活動	食育	学校行事	性教育	情操教育
7	6	5	5	4	4

人権教育	交流学习	特別支援	読書指導	その他	
4	3	3	2	2	

○平成23年度の反省・課題

- ・初年度、2年度の実績をもとに、事業の趣旨及び内容等の啓発について、本会HP・機関誌「茨城教育」等を活用し積極的なPR活動をし、関係機関・団体の理解を深めることに努力した。しかし、明確な成果を得られなかったとの反省に基づき、今年度は前述の広報活動に加えて、直接、関係

機関・団体に電話等で働きかける等の方法をとった結果、所期の目的を達成することができた。

- ・ 本事業の趣旨の一つである、本会「賛助会員人材バンク」の積極的活用については、今後より一層の啓発活動が必要である。
- ・ 申請1件当たり5,000円の補助金額の妥当性については、関係者の意見を聴取するなどの方策で増額の検討した結果、当面は現状で対応する。

#### (5) 各種事業への助成

- ・ 水戸市教育会等への補助

#### (6) サークル紹介（「茨城教育」による）

- ・ 「坂東市理科サークル」 (836号)
- ・ 「日本語補習二十六年『風の会』」 (837号)
- ・ 「古内大杉囃保存会」 (838号)

### 4 表彰（表彰規程により、下記該当者を表彰）

- ・ 郡市地区教育会長として功績を残して退職された者
  - ◎ 水戸市教育会長 根本 福雄氏 外17名
- ・ 教育功績者表彰規程による功績者としての表彰者
  - ◎ 団体・「三村囃子保存会」 代表 原田 善之 (石岡市)
  - ◎ 個人・「畑の先生」 入江ミドリ (取手市)
  - ◎ 団体・「とりで子供の本の連絡会」 代表 君塚 敦子 (取手市)
  - ◎ 団体・「牛久市立岡田小学校おはなしの会」 代表 山口真砂美 (牛久市)
  - ◎ 団体・「守谷市立大野小学校協力の会」 代表 高橋甚一郎 (守谷市)
  - ◎ 団体・「桜川天文愛好会」 代表 幸田 博 (稲敷市)
  - 水飼 良一

### 5 各種会議の開催

#### (1) 賛助会員地区代表者会

- 期 日 平成23年4月25日(月) 午前10時から12時まで
- 会 場 茨城県水戸生涯学習センター 分館
- 出席者 【水戸】 中井川正次 鈴木 一司 【県北】 柴田 彪 白石 克彦  
(敬称略) 【鹿行】 下河邊康志 下河 哲雄 【県南】 岡 賢市 大鳥居良行  
【県西】 田村 進 吉岡 耿 【高校】  
【顧問】 内山 源 清水 千壽 大野 文雄
- 内 容
  - 報告 ・ 平成23年度の事業計画概要及び年間行事計画について
  - ・ 組織の現状と課題について
  - 協議 ・ 第63回日本連合教育会研究大会茨城大会について
  - ※各地区賛助会員の大会への協力依頼
  - ・ 組織の拡充・充実のための諸対策について
  - ・ 機関誌「茨城教育」執筆者及び教育功績者推薦について
  - ・ 「『学校力』向上プロジェクト支援事業」について

- ・公益社団法人の認可取得についての基本方針について
- ・「みちしるべ 後輩に託す応援歌」の発行について

## 6 その他目的達成のための事業

### (1) 組織の基盤強化のための活動

- ① 郡市地区教育会代表者研究協議会、同地区別研究協議会（県北地区）、賛助会員代表者会等における事業概要と会員加入状況の説明及び加入促進依頼
- ② 市町村教育委員会及び郡市学校長会長訪問による加入促進依頼
- ③ 「茨城教育」による購読者と加入者の増加対策
- ④ 県PTA連絡協議会との連携強化の促進

### (2) ③文部科学省要望書提出（政策関係）

#### ○ 第1回要望書提出

- ・期 日 平成23年11月16日（水）午後2時から2時15分まで
- ・場 所 衆議院 院内15控室
- ・対応者 企業団体対策委員会委員長・参議院議員 池口 修次氏  
同 副委員長・衆議院議員 金子 健一氏
- ・同行者 会 長 亀井 浩明（東京都教育会）  
副会長 小貫 紀久（茨城県教育会）  
同 後藤 正幸（信濃教育会）  
同 新沼 隆三（栃木連合教育会）  
同 本間 孝明（桐生市教育会）  
幹 事 塚越紀久男・駒井 眞・大淵 嘉彦（東京都教育会）

#### ○ 第2回要望書提出

- ・期 日 平成23年12月1日（木）午後2時から2時30分まで
- ・場 所 文部科学省 8F 大臣官房審議官室
- ・対応者 大臣官房審議官 尾崎 春樹氏
- ・同行者 会 長 亀井 浩明（東京都教育会）  
副会長 後藤 正幸（信濃教育会）  
同 新沼 隆三（栃木連合教育会）  
同 本間 孝明（桐生市教育会）  
幹 事 塚越紀久男・駒井 眞・大淵 嘉彦（東京都教育会）

### (3) 茨城県教育研究連盟関係

- ・本会会長は、本連盟の副会長に就任
- ・評議員会・幹事会に出席、企画・運営に参画
- ・第56回茨城県教育研究連盟研究集会  
[日 時] 平成23年（2011年）10月8日（土）  
[会 場] 茨城大学水戸キャンパス  
[日 程] 9：00～9：30 受付  
9：30～10：00 開会・全体会・講和  
講和 「六角堂の復興にあたって」

茨城大学教授 小泉 晋弥

10：40～12：10 分科会

12：10～13：00 昼食・休憩

13：00～16：00 分科会

16：30 閉会（分科会毎）

[分科会の構成] 23分科会

[提案レポート数] 270

(4) 委託業務の執行

- ・「2011年度版茨城県学事関係職員録」の編集・販売
- ・「諸表簿・用紙等」の編集・販売
- ・「ひらがなれんしゅうちょう」「ABC英語練習帳」の編集・販売斡旋
- ・「みちしるべ 後輩に託す応援歌」の刊行と販売